

認知症の理解へ、啓発活動



認知症の本人も家族も住みやすいまちへ キャラバンメイトなどが呼びかけ

世界アルツハイマーデー（認知症の日）を前に、新庁舎で初めての啓発活動が行われました。会場では、認知症サポーター養成講座などの講師を務める「キャラバンメイト」や「家族の会」などがオレンジのビブスを着用して参加。パネル展示や啓発品の配布で、訪れた市民などに認知症の本人や家族への理解と支援を呼びかけました。

9月4日 | 市役所

守山ブランドの「こばまぶどう」が給食に



市内小中学校の子どもたち 大粒のぶどうを頬張り笑顔

地産地消の取り組みの一環で、守山ブランドとして人気の「こばまぶどう」が市内小中学校の給食で提供されました。中洲小学校3年生の教室では、「最後の楽しみに取っておく」という児童や、デザートを待ちきれずにぶどうを口に運ぶ児童も。子どもたちは「甘くておいしい」と頬を緩ませながら、大粒のぶどうを一粒ずつ味わっていました。

9月4日 | 中洲小学校 ほか

ダイバーシティサッカーday



みんながサッカーを楽しめる1日 守山侍2000の応援やゲームに大興奮

シガラボなど任意団体による「滋賀を障がい者サッカーの聖地に」の企画で開催されました。関西サッカーリーグ「守山侍2000」の公式試合に合わせ、参加者はサッカー教室や国スポ・障スポPRブースのゲームなどを体験。エスコートキッズとして選手とピッチに入場したり、白熱の試合を観戦したりと、サッカーざんまいの1日を満喫しました。

9月7日 | ビッグレイク

防災頭巾贈呈式



自分の命を自分で守ろう 玉津小1年生が防災対策を学ぶ

守山市赤十字奉仕団玉津分団が、玉津小学校1年生48人へ防災頭巾を寄贈しました。代表児童が頭巾を受け取るとともに、頭巾の使い方や、災害時の命の守り方を学びました。守山市赤十字奉仕団玉津分団は「毎年、1枚1枚心を込めて作成している。もしものときに役立てるため、6年間大切に使用してくれたらうれしい」と話していました。

9月6日 | 玉津小学校

守山市の人口

令和6年8月31日現在
(前月比)

人口	85,810 (+ 2)
男	42,233 (+ 21)
女	43,577 (- 19)
世帯数	35,307 (+ 34)

が戻ってきた。頂き物のピ
ワマスと比良の棚田産の新
米で炊き上げた「アメリ
オご飯」。しょうゆ色に染
まったコメの合間にピンク
色のマスの身、上に載せた
イクラもキラキラ。旨くて
2杯、3杯と箸が止まらな
い▼これから秋が深まるに
つれ、旨いものがめじろ押
し。ますます「腹肥ゆる俺」
となりそうだ。何とかしな
ければと、スポーツジム通
いを増やすも今度は体中が
痛い。思わず年齢を感じ、
人生が「秋の季節」を迎えた
ように気が重い▼一方、先
日観戦した国スポの前哨戦
ソフトボールでは、選手た
ちの熱く闘志みなぎるプレ
イに一喜一憂。応援に力が
入り、体に活力がみなぎる
のを感じた。燃えるような
真夏の熱気がよみがえった。
44年ぶりの大きな大会を前
に、人生の「残暑」を楽しも
うと思う。



「天高く馬
肥ゆる秋」。
残暑も何と
か収まって
やっと食欲